

労働安全衛生規則に伴う遠心機定期自主検査表内の点検詳細

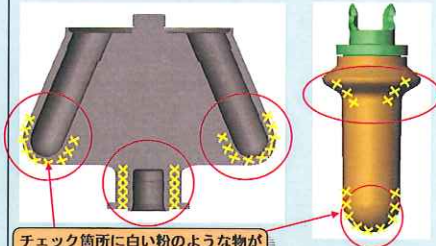
1・最高回転速度/許容回転速度



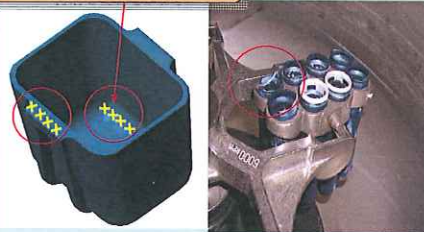
各製品のロータの上面には必ず最高回転数表示が記されている
ご使用前には確認を



2・腐食、傷



チェック箇所白い粉のような物が付着していないか。



3・ロータの固定

回転軸にナットを使用し固定されているロータ(機種)がある。



スプリングワッシャが潰れていること。月に一度は増締め確認を



4・スイング状態

手でバケットを振らせスムーズな動きであることを確認してください。



5・ロータのカバー

標準付属のアルミニウムネジ潤滑剤グリースをネジ部へ塗布する。



超遠心機アングルロータ



超遠心機スイングロータ



冷却遠心機アングルロータカバー



小形遠心機スイングロータ

6・キャップ・Oリング他

使用前の確認

- 1・キャップ関係のパーツが揃っているか。
- 2・使用チューブにクラック、変形が発生していないか？
- 3・Oリングに亀裂やひび割れがないか？
(手でOリングを伸ばし確認)



ひび割れがないこと

クラックが入っていないか

7・寿命管理・保証期間

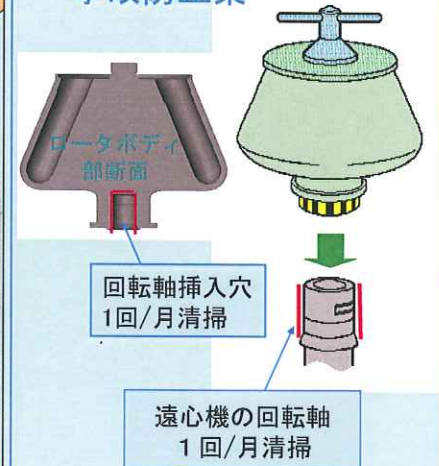


Ti製アングルロータ	5,000 回
Ti製パーティカルロータ	10,000 時間
CF製パーティカルロータ	1,000 回
Al製アングルロータ	1次 2,500 時間
スイングロータ	2次: 回転数10%減
ゾナルロータ	1,000 回
	2,500 時間

冷却遠心機・小形遠心機ロータ→納入7年
小形遠心機ロータバケット→使用20000回

8・回転軸

事故防止策



9・回転軸の曲がり

回転軸上に水準器を置き360度
回転させ回転軸の曲がりを確認
水準器内の気泡が真中にあること



手でロータを回転
させ回転軸の偏芯
状態を確認する。
(高速冷却、小形の
場合のみ)

10・減速停止の動作

ブレーキON/OFFスイッチ付の機種について

減速途中でスイッチをON/OFF
させ、減速音に変化するか？

ブレーキがACCEL/DECEL表示の機種について

ACCELは加速
DECELは減速を意味します。
DECEL表示の数値を変化させる。
9～1の間で数値の変化が可能
9が最大減速/1が最小減速
減速時間に変化があれば良好と判断

ロータ停止時停止音が鳴るか？

ロータ停止後電子音もしくは
メロディー音が鳴ること
メータ式(アナログ)機種は除く

11・運転音・振動・遠心機外枠

運転音

日頃ご使用中の運転音と比較し異常と
思われる音の発生がないか？
(金属音・共振音・ビビリ音等)

振動

加速・整定・減速時本体の脇を手で
触れ振動を確認
特に整定中振動が大きいようであれば
駆動軸の偏芯や、駆動部周りの異常が
考えられます。
(加速直前・停止直前は若干の振動
が発生する)

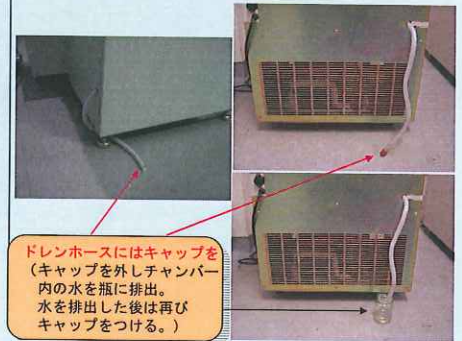
遠心機外枠

基本的に外枠は目視確認によりキズ・
へこみが無ければOKと判断できます。
外枠ネジ類の増し締めを定期的に行う
ことをお勧め致します。

12・ロータ室



チャンパー室は乾燥
状態が好ましい。
一日の遠心終了後ドアを
開放し水滴がある場合は
拭取る。
(乾燥後はドアを閉じる)



ドレンホースにはキャップを
(キャップを外しチャンパー
内の水を瓶に排出。
水を排出した後は再び
キャップをつける。)

13・ラジエター



6ヶ月に一度は清掃を



機種によりフロント側・リア側がある

14・ドアロック

ドア開放時回転しないこと



回転中ドアが開かないこと

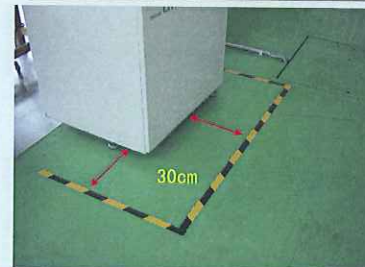


15・遠心機の設置



回転軸上に水準器
を置き、水準器の
気泡が中心にある
こと。
本体四隅の角を
手で押しガタツキ
がないこと。

遠心中30cm以内には立入らない。
また、物や障害物等を放置しない。



サービスコールセンター

日立遠心機お客様相談センター
0120-02-4125
9:00~12:00
12:45~17:00

首都圏地区のサービスセンター
03-3226-7713

日立遠心機に関するあらゆる
情報窓口として
<http://www.hitachi-koki.co.jp/himac/>